

## 全国高校生体験活動顕彰制度事業

### 「地域探究プログラム オリエンテーション合宿 in 赤城」

#### 1. 趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 期日

令和3年7月17日（土）～18日（日）

##### (2) 参加者

前橋市立前橋高校生徒17名（男子3名、女子14名）

#### 3. 企画運営のポイント

①オリエンテーション合宿の課題を「赤城山活性化プランをつくる」に設定することで、前橋市立前橋高校の「総合的な探究の時間」の教育課程と関連させ、本合宿の成果を学校で生かすことができるようにする。

②探究のプロセスごとに、指導計画とワークシートを作成することで、活動の目的や達成目標を明確にする。

③赤城山大沼周辺でのフィールドワークにおいて、前橋市地域おこし協力隊員を中心にたくさんの協力をもとに、充実した体験活動ができるようにする。

#### 4. 日程

|              | 午前  | 午後   | 夜                   |
|--------------|---|--|---------------------|
| 7月17日<br>(土) | フィールドワーク①<br>「地域の魅力を発見」<br>講師：関 洋明氏<br>(前橋市地域おこし協力隊)<br>鈴木 雄祐氏<br>(前橋市地域おこし協力隊)                           | 講義・演習①<br>「地域理解」                           | 講義・演習②<br>「課題解決の基礎」 |
| 7月18日<br>(日) | フィールドワーク②<br>「地域課題の探究」<br>講師：関 洋明氏<br>(前橋市地域おこし協力隊)<br>鈴木 雄祐氏<br>(前橋市地域おこし協力隊)<br><br>講義・演習③<br>「地域課題の探究」 | 講義・演習③<br>「地域課題の探究」<br><br>発表<br><br>ふりかえり |                     |

## 5. 主な活動内容



フィールドワーク①「地域の魅力を発見」



講義・演習①「地域理解」



講義・演習②「課題解決の基礎」



フィールドワーク②「地域課題の探究」



講義・演習③「地域課題の探究」



発表

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足16名(94.1%) やや満足1名(5.9%) やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・いつもと違う環境でいろいろ学べ、良い刺激をもらえました。
- ・班のメンバー全員が様々な方向性で意見をのぼして行って楽しかったです。
- ・美しい自然に見え隠れする問題を知ることができました。
- ・スライドを作る課程で班の人々と沢山話し合いをすることができたのでとてもよかったです。
- ・地域のためにできることを考えるのは大変でしたが楽しかったです。
- ・今の赤城には有名スポットになるための課題が沢山あるので「私たち高校生にしかできないこと」を見つけて赤城の活性化につなげたいと思いました。

### (3) 成果

- ①参加者から「大沼、覚満淵の景色、植物などの魅力、また道のせまさなどの課題を見つけることができました。」「赤城のことを調べてみて地元の自分でも知らないことがたくさんあったことを知った。これからは今回調べたことを生かして、色々なことに目を向けていこうと思う。」などの意見があることから、赤城山の魅力や課題を見いだす上でフィールドワークは有効であり、自分の地域に目を向ける上でも有効であった。
- ②参加者から「自分の考えを広げていくときのコツがつかめた気がしました。」「ブレインストーミングのおかげで普通は出さないような意見が出せました。理想と現実を比べギャップを見つけるのがコツとわかりました。」などの意見があることから、各探究のプロセスごとに活動の目的を明確にし、ワークシートを作成したことは、情報の整理や分析、アイデア出しや発表方法を考えるための手段として有効であった。

### (4) 課題

- 2泊3日の内容を、1泊2日で実施しているため内容が詰め詰めになり発表準備や発表の十分な時間を確保することができない。連携校とも協議しながらプログラム時間の設定を見直していきたい。

担当：竹内・塩原